

令和元年度（第42期）事業報告書

（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

（公財）岡山県郷土文化財団

I 事業実施状況

財団設立の目的である、「岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与する」ことをめざし、県、市町村、民間団体、会員等と連携して次の事業を実施した。

(参考)

定款第4条第1項に掲げる事業

- (1) 優れた文化的遺産、自然景勝地、保護すべき動植物の生息地等（以下「文化財等」という。）の取得及び保護活用並びに先賢の顕彰に関する事業
- (2) 文化財等や先賢の事績等に関する資料の収集、保存及び公開並びに講演会等の開催その他知識の普及啓発に関する事業
- (3) 伝統に根ざした地域文化の創造及び振興に関する事業
- (4) 第1号から第3号までに規定する事業に関連するボランティアの育成及び支援
- (5) 第1号から第3号までに規定する事業に関連する受託事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公1 文化財等保護活用事業(第4条第1号、第4号関係)

(1) 岡山の文化的遺産等の保護、活用に関する事業

① 備中漆復活支援

- ・備中うるし利活用協議会の事務局運営

令和元年度第1回協議会 10月4日(金) 岡山県庁分庁舎

令和元年度上期事業報告・今後の予定、意見交換等

令和元年度第2回協議会 令和2年3月13日(金) 岡山県庁分庁舎

令和元年度事業報告・今後の予定、意見交換等

- ・後楽園和文化体験 和漆色絵付体験

8月3日(土)

参加者 14人

② 文化財庭園後楽園の保護・活用

ア 後樂園の魅力発信のための取組

- ・「岡山後樂園で能をたのしむ会」の開催

岡山後樂園能舞台 10月5日(土)

参加者245人

協力 観世流 藤々会

能 「賀茂」

出演者 山崎浩之ほか

解説 山崎福之(京都府立大学教授)

狂言 「棒縛」

出演者 茂山千五郎ほか

イ 後樂園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知っていただくための取組

- ・岡山後樂園写真コンテスト、写真展の催行、「岡山後樂園カレンダー」の作成・頒布

(参考:写真コンテストの応募数 265点)

- ・TWILIGHT EXPRESS 瑞風への対応

後樂園内、延養亭等の有償ガイド対応(ガイド育成を含む。)

山陽・山陰コース(周遊)で毎週水曜日に立ち寄り

- ・「岡山後樂園史」、「岡山後樂園なるほど大百科」の頒布

ウ 後樂園の入園者への利便性向上の取組

- ・音声ガイド、コインロッカー等のサービス
- ・記念メダル等の頒布

③ 自然保護事業

- ・(公社)日本ナショナル・トラスト協会との連携

全国のトラスト活動について情報収集を行うとともに、行事等の情報提供を行った。

(2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

① 「内田百閒記念碑園」の維持管理

岡山県から土地の貸与を受け、岡山市中区小橋町旭川河川用地内に寄附金等により整備した「内田百閒記念碑園」の維持管理を実施した。

② 岡山県庁分庁舎（旧三光荘）百閒コーナーの管理

岡山県の要請により整備に協力した「百閒コーナー」について、財団自らが管理することとなっており、管理を実施した。

③ 特別展 生誕 130 年記念 内田百閒－古里岡山を訪ねて－

生誕 130 年を迎える内田百閒を顕彰する催しとして、吉備路文学館との共催で、郷土文化財団が遺族等から寄贈を受けた遺品等を展示するとともに、解説会や朗読会等を開催した。

日時：平成 31 年 2 月 10 日（日）～ 6 月 2 日（日）

来館者 2, 447 人

場所：吉備路文学館

④ 「池田光政公御涼所跡」の維持管理

岡山市北区中原地内の県有地に寄附金等により復旧・整備した「池田光政公御涼所跡」の維持管理を地元町内会に委託して実施した。

公 2 普及啓発事業（第 4 条第 2 号関係）

（ 1 ） 資料の収集、保存・公開

① 内田百閒関係資料の寄託受入

整理中

② 財団収集資料の公開

ア 植物関係図書・文献等の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料（書籍約 5,300 冊、雑誌約 7,000 冊）を岡山県立図書館に寄託（「難波早苗文庫」）

・同植物標本（約 3,300 点）を岡山県自然保護センターに寄託

イ 郷原漆器資料の公開

・財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器（約 60 種類、約 7,000 点）を岡山県立博物館に寄託

ウ 郷土画家の秀作の公開

・財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作（6 人、10 点）を岡山県立美術館に寄託

エ 資料の特別利用件数

1 2 件（うち閲覧のみ 1 件）

（２） 講演会・研修会等の開催

① 郷土文化講座の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、専門の講師を招いて郷土文化講座を開催した。

ア 「真庭市の自然と文化」 令和 2 年 2 月 1 3 日（木）

講師 前原茂雄（蒜山郷土博物館館長）

講師 増井太樹（真庭市林業バイオマス産業課上級主事）

参加者 4 1 人（うち会員 2 8 人）

※第 2 講座、第 3 講座は、新型コロナウイルスの影響を勘案し中止

② 第 9 回おかやま文化フォーラム

共催：岡山県 後援：山陽新聞社

日時：1 1 月 2 3 日（土） 1 3 時～1 6 時

会場：岡山県立美術館 2 階ホール

テーマ「近世の実像を求めて 世界の中の近世日本」

講演 1 「近世日本の国際関係と言説」

講師 荒野 泰典（立教大学名誉教授）

講演 2 「洋学は如何にして受容されたのかー資料からみた美作の洋学者たちの動静ー」

講師 下山 純正（津山洋学資料館元館長）

ディスカッション 司会 倉地克直（岡山大学特命教授）

③ 現地研修会

郷土ゆかりの自然や文化財を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館等の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

ア 内田百閒生誕 1 3 0 年・文化財団創立 4 0 周年記念

特別講演会並びに特別解説会と文化財団の歩みをたどる現地研修会

5 月 2 9 日（水）

参加者 2 9 人（うち会員 1 6 人）

2 0 1 9 年は内田百閒生誕 1 3 0 年と文化財団創立 4 0 周年に

あたることから、文化財団が中心となり、地元の方々や文化財団会員、岡山県など関係各位のご協力で整備した岡山市北区中原にある池田光政公御涼所跡を訪ね、万城主任研究員の解説で、歴代藩主たちが同地を顕彰した二基の碑などを見学後、「牧石ねぎ」部会の方から、地元中原の特産品「牧石ねぎ」についての説明を受けた。

午後からは、文化財団が、その創立当初から関わっている蒜山にある郷原漆器の館を訪ね、同館館長で木工作家の高月國光氏の説明で、木地挽きの実演と館を見学した。

イ 文化財団創立40周年記念 岡山の偉人 明治の人物をたどる現地研修会～小野竹喬・内田百閒・国吉康雄・坂田一男・坪田讓治・犬養木堂・岡崎嘉平太～

9月11日（水） 参加者46人（うち会員32人）

内田百閒と同時期に生まれた岡山の偉人、国吉康男・坂田一男・坪田讓治の生誕地周辺を万城主任研究員の解説で車中から見学し、文化財団が顕彰している犬養木堂記念館と生家やお墓などを中田副館長と石川学芸員の解説で見学した。

午後からは、百閒と同じ年に生まれた小野竹喬を顕彰している笠岡市立竹喬美術館の特別展「小野竹喬のすべて」を中原学芸員の解説で見学した。帰路、岡崎嘉平太が揮毫した記念碑のある吉備真備のまきび公園を見学した。

ウ 文化財団創立40周年記念 浅野家広島城入城400年 広島城と備中足守をたずねる現地研修会

11月29日（金） 参加者47人（うち会員35人）

旧広島藩主浅野家が広島城に入城して400年にあたることから、初代藩主浅野長晟が備中国足守大名であったこともあり、足守藩家老職子孫杉原康子氏の解説で侍屋敷や陣屋跡、大名庭園の近水園を見学した。

午後からは、広島城玉置和弘主任学芸員の解説で広島城跡を見学した。その後、大名庭園の縮景園を見学した。

エ 文化財団創立40周年記念 ー日本文化の源流を求めてー

吉備真備と平城宮跡を訪ねる現地研修会

遣唐使として二度、唐に渡り唐の文化を日本にもたらし奈良時代の諸制度や文化の繁栄に貢献した吉備出身の吉備真備と日本文化の源流を求め、平城宮跡歴史公園を訪ねた。平城宮跡資料館で奈良文化財研究所都城発掘調査部史料研究室の山本祥隆研究員の講義を聴講し、歴史公園内の復原された建造物等を見学した。

令和2年2月21日（金） 参加者39人（うち会員37人）

オ 文化財団創立40周年記念 地図を持って岡山城下町と百間ゆかりの地を歩く現地研修会

令和2年3月27日（金）に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を勘案し延期とした。

④ 特別解説会等

県内美術館、博物館等の特色ある企画展等において、企画の意図や見どころなどについて理解を深めるため、担当学芸員等による特別解説会を実施

ア 特別講演会・特別解説会「文化財団創立40周年・内田百間生誕130年記念特別講演会・特別解説会」

（吉備路文学館）特別展鑑賞会 5月29日（水） 参加者 30人
講演：高山雅之（岡山県郷土文化財団元事務局長）
解説：熊代正英（吉備路文学館副館長）

万城あき（岡山県郷土文化財団主任研究員）

2019年が文化財団創立40周年と内田百間生誕130年にあたることから、百間の誕生日である5月29日に特別講演会を開催し、文化財団の発展に尽力してきた高山雅之元事務局長から、文化財団で内田百間を顕彰することになったいきさつやそれにまつわるエピソードなどの話があった。

その後、開催中の特別展「内田百間－古里岡山を訪ねて－」を熊代正英吉備路文学館副館長と万城あき文化財団主任研究員の解説で鑑賞した。

イ 「岡山の日蓮法華」特別解説会

日時：11月6日（水） 午前10時30分～正午 参加者 41人

会場：岡山県立博物館

講師：中田利枝子（岡山県立博物館統括学芸員）

ウ 「ハレの日、装う」美術鑑賞会

日時：令和2年2月26日（水） 午後1時30分～午後3時

参加者 15人

会場：林原美術館

講師：槌田祐枝（林原美術館学芸員）

（3） 講師の派遣

後楽園や岡山の先賢の事績等に関する講座等に事務局から関係職員を派遣した。（16件）

（4） 定期刊行物、映像資料、印刷物等の作成、頒布

① 定期刊行物

ア 広報誌「きび野」の発行

第154号（6月）、第155号（9月） 各4,000部

イ 財団ニュース「お知らせ」送付

9回 2,000部／回

② 県民愛唱歌「みんなの心に」の頒布

③ ホームページの更新等 随時

④ 既作成の映像資料、印刷物等の頒布 随時

岡山県自然・文化財シリーズ、岡山県人物シリーズ、文化財団の
あゆみ等

公3 地域文化振興事業（第4条第3号関係）

（1） 地域文化の創造、育成に関する事業

① 会員作品展

会期 5月14日（火）～5月19日（日） 来場者800人

場所 天神山文化プラザ

出展 絵画73点 写真43点 その他（染織・レリーフ）3点

計119点

関連イベント 平成30年度の財団事業報告と財団創立から40年
間の主な事業を紹介したパネルや刊行物などを展示

② 郷土文化財団クラシックコンサート

オーケストラがやって来た！

会期 11月24日（日）14時開演

場所 総社市民会館（総社市総合文化センター）

プログラム ドヴォルザーク「交響曲第8番」、レスピーギ「リュートの為の古代舞曲とアリア」など

来場者 約550人

③ 県内各地で開催される各種文化活動の共催、後援

後援 「岡山の美術」特別展示 金谷哲郎・金谷朱尾子作品選
ほか83件

(2) 苗木交付事業

休止中

公4 受託事業(第4条第5号関係)

(1) 文化財庭園「後樂園」の管理運営受託

① 管理業務

ア 園地、亭舎、樹木等の維持管理（小修繕を含む。）

イ タンチョウの飼育

② 運營業務

ア 入園業務

入園券の販売、改札、入園料の収入代行等

早朝開園(試行) 9月1日(日)～9月30日(月)

午前6:30から開園

10月1日(火)～11月30日(土)

午前7:00から開園

イ 亭舎貸出

園内亭舎の貸出予約受付、貸出に伴う連絡調整、使用料の収入代行等

ウ 入園者等への情報提供

パンフレットの作成・配付、園内行事・施設の案内等

エ 後楽園専任ボランティアの育成、実施調整等

(ア) 「後楽塾」の育成及び実施調整

・ 15期生募集

基礎講座（11月から3月まで15回）

修了後、出発式～2021年3月31日（水）までの2年間

ボランティア活動

・ 13期生 5名卒塾（令和2年3月27日卒塾式）

(イ) 後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊」

・ ガイド活動実施調整

・ 清掃部門の実施調整

③ 行事等運営

ア 伝統年中行事

(ア) 茶つき祭 5月19日（日） 美作市海田茶摘み踊り保存会

(イ) お田植え祭 6月9日（日） 哲西町はやし田植え保存会
神代郷土民謡保存会

(ウ) 観蓮節 7月7日（日） 延養亭での箏曲演奏、茶席

(エ) 名月観賞会 9月13日（金） 延養亭での箏曲演奏、茶席

(オ) 松の菰巻き 10月16日（水）

(カ) 後楽園菊花大会 10月19日（土）～11月10日（日）

(キ) 後楽能 11月3日（日・祝）

(ク) 新春箏曲の会 令和2年1月1日（水・祝）

(ケ) 芝焼き 令和2年2月7日（金）

(コ) 松の菰焼き 令和2年2月19日（水）

イ 後楽園の伝統行事等に併せた行事等へ彩りを添える取組

(ア) 茶つき祭 5月19日（日） 茶つき体験事業 参加者326人

(イ) お田植え祭 6月9日（日） 田植え体験事業 参加者45人

(ウ) 観蓮節 7月7日（日） 茶席等参加者1,858人

(エ) 名月観賞会 9月13日（金） 茶席等参加者2,765人

(オ) タンチョウの園内散策

9月29日(日)、10月14日(月・祝)、10月17日(日)
11月3日(日)、12月8日(日)、12月15日(日)
1月1日(水・祝)、1月3日(金)、2月2日(日)
2月23日(日)

ウ 後楽園の魅力発信のための取組

(ア) 初夏の延養亭特別公開

5月20日(月)～26日(日)

午前9時30分から1日6回 各回20分程度

参加者490人

(イ) お田植え体験会 6月10日(月)

岡山市立岡山中央小学校5年生 149人

(ウ) 岡山後楽園の庭しごと体験講座『ハナショウブの株分け』の開

催 6月18日(火)

参加者 21人

(エ) 稲刈り体験会 10月2日(水)

岡山市立岡山中央小学校5年生 148人

(オ) 秋の延養亭特別公開

10月21日(月)～10月27日(日)

午前9時30分から1日6回 各回20分程度

参加者505人

エ 後楽園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知っていた
だくための取組

(ア) 後楽塾(後楽園専任ボランティア)等の育成、活動支援

園内ガイドに必要な歴史的知識を提供し、定期的にミニ講座等
でフォローアップに努め、サポートを行った。

(イ) 後楽園公式HPの更新協力

オ 後楽園魅力向上委員会事業への協力

(ア) 春季夜間特別開園「春の幻想庭園」

4月26日(金)～5月6日(月・祝)

(イ) 幻想庭園文化講座

日時 5月3日(金)、5月4日(土)、8月3日(土)
8月30日(金)

講師 万城主任研究員

(ウ) 夜間特別開園「幻想庭園」 8月1日(木)～31日(土)

カ 後樂園の魅力発信のための財団の受託事業

(ア) 感動体験プログラム事業

- ・「和文化体験」 夜間特別開園「幻想庭園」

8月1日(木)～31日(土) 期間中 参加者 233人

※和漆色絵付体験含む。

県と共催、岡山後樂園鶴鳴館

予約のあった来園者に華道、香道、琴などの和楽器を体験し、
和文化にふれてもらった。

- ・「座敷で楽しむ」 県と共催

定期開催 原則毎月第一、第三金曜日

園内建物の無料公開と簡単な和文化(折り紙等)の体験

特別開催

「後樂園の新茶でおもてなし」

6月21日(金)～22日(土) 参加者 200人

「夏休みの自由研究お助けします」

8月20日(火)～21日(水) 参加者 265人

「お正月飾りワークショップ」

12月6日(金) 参加者 37人

「美味しいお茶の入れ方講座」

12月20日(金) 参加者 38人

「お正月遊び」

令和2年1月10日(金)～11日(土) 参加者 361人

- ・「水墨画体験会」 県と共催

6月13日(木)、7月11日(木)、9月5日(木)、

11月7日(木)、1月9日(木)

(イ) TWILIGHT EXPRESS 瑞風への対応

鶴鳴館貸出、延養亭特別公開対応

山陽・山陰コース(周遊)で毎週水曜日に立ち寄り

(ウ) 情報発信事業

- ・歴史的、文化的価値を発信する冊子作成

「後樂園歴史ものがたり」中国語(繁体字・簡体字)版作成

- ・「岡山後樂園なるほど大百科」改訂版作成

(エ) 外国語対応ボランティアの養成

- ・後樂園ボランティアガイド(英語・中国語・韓国語)に必要な知識を提供し、外国語対応ガイドの養成を行った。

(オ) 後樂園公開講座開催

後樂園をはじめとする文化財庭園の「庭」としての魅力をより深く知っていただくための「岡山後樂園 なるほど講座」を開催した。

- ・「わかりやすい！名勝(文化財)庭園の保存管理と活用について -無鄰菴を事例に-

日時：令和2年2月17日(月)

参加者61名

講師：植彌加藤造園株式会社 知財管理部部長 山田咲

- ・「そうなのか！栗林公園 殿様の眺めた景色と使い方」

日時：令和2年2月24日(月・祝)

参加者61名

講師：香川県立ミュージアム 主任専門学芸員 御厨義道

- ・「なるほど！岡山後樂園 延養亭の来歴と景色」

講師：主任研究員 万城あき

令和2年3月1日(日)に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を勘案し延期とした。

(2) 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館」、「岡崎嘉平太記念館」の指定管理

① 犬養木堂記念館

ア 基本的事業

(ア) 記念館、木堂生家、木堂塾等(駐車場、墓地を含む。)の施設及び設備等の来館者への提供

- (イ) 犬養木堂に関する資料の収集（寄附、寄託）・保管及び展示
- (ウ) 犬養木堂に関する専門的な調査研究等
- (エ) 記念館、木堂生家、木堂塾の施設及び設備等の維持管理（小修繕を含む。）
- (オ) 記念館等に係る行為の許可

イ 企画事業等の概要

- (ア) 第25回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展

3月16日（土）～5月6日（月） 入館者2, 256人

特別賞25点 入賞412点 入選1, 133点

- (イ) 木堂祭 5月15日（水） 参加者600人

記念講話

演題 大正時代における犬養毅と中野正剛

—ジャーナリストの応援団代表として—

講師 倉敷芸術科学大学 時任英人名誉教授

その他の催事：お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

- (ウ) 犬養木堂記念館所蔵 一品展35

5月25日（土）～6月23日（日） 入館者761人

木堂が大日本製糖（現：大日本明治製糖）の社長であった藤山雷太に宛てた手紙14通が収められた巻物を初公開し、内容をパネルで詳しく紹介した。

- (エ) 夏の特別展「石碑に刻まれた木堂の書」

8月1日（木）～8月31日（土） 入館者763人

県内各地に残る木堂の書が刻まれた石碑（21ヶ所）の写真と石碑の場所の地図をパネルで紹介。木堂直筆の石碑の原本も展示した。また、希望者には石碑の地図を配布した。

- (オ) 秋の企画展「写真に残る木堂の姿—木堂写真あれこれ」

10月9日（水）～12月5日（木） 入館者2, 021人

平成28年に新たに犬養家から寄贈された写真を中心に、政治や地元岡山などのテーマ毎に展示。木堂直筆の添え書きがある写真や手紙、当選証書などの関連資料とともに、木堂の政治

活動や交流関係などを紹介した。

(カ) 紅葉と和文化を楽しむ会

11月17日(日)

参加者380人

旧犬養家住宅(国指定重要文化財)では、投壺と投扇興の体験や対戦、木堂塾では、煎茶の接待及び木堂(日本棋院から追贈三段)が愛好していた囲碁を楽しんでいただけるように「碁会所」と「囲碁教室」を開催した。

協力: 投壺と投扇興を楽しむ会、一茶庵 村上社中、吉備地区
囲碁同好会

(キ) 新春特別陳列

令和2年1月5日(日)～2月2日(日)

入館者713人

常設展示室の一角で、木堂の年賀状や高梁市出身の画家 児島虎次郎の甥で彫塑家の児島矩一などが描いた木堂の絵や木堂が「元旦」と名付けた書などを展示。今年の干支である子の年の木堂の行動も紹介した。

(ク) 犬養木堂記念館所蔵 一品展36

令和2年1月18日(土)～2月16日(日)

入館者734人

木堂が、昭和2年までに自作した詩などを、自筆で書き記した冊子「木堂詩稿」を展示するとともに、木堂自作の詩など24点の内容をパネルで詳しく紹介した。

(ケ) 第26回犬養木堂顕彰児童生徒書道展

募集期間 7月～10月25日(金)

応募総数 3,902点

審査 12月10日(火)

表彰式 令和2年2月22日(土)

書道展 令和2年3月15日(日)～4月24日(金)

入館者972人

(コ) 木堂記念館主催の企画展(4回)を対象としたスタンプラリー

全企画展見学者でスタンプを4つ集めた方に記念品をプレゼントした。

(サ) 記念館リーフレットのリニューアル

来館者へ無料配布しているリーフレットを従来のA5

サイズから、携帯しやすさを考慮してA4三つ折りサイズに変更するとともに、内容を一新した。

(シ) 記念館ホームページのリニューアル

従来のホームページをより見やすく分かり易くし、写真を多用したデザインに変更するとともに、内容を随時更新できるよう全面改訂した。

(ス) 「探訪 石碑に刻まれた犬養毅の書（岡山編）」の発行

岡山県内に散在している木堂の書が刻まれた石碑を調査した結果をまとめた冊子を作成した。

(セ) 資料の受入等

- ・ 寄贈資料 4点
- ・ 購入資料 該当なし

(ソ) 行為の許可件数等 88件

② 岡崎嘉平太記念館

ア 基本的事業

(ア) 記念館設備等の来館者への提供

(イ) 岡崎嘉平太に関する資料の収集（寄附、寄託）・保管及び展示

(ウ) 岡崎嘉平太に関する専門的な調査研究等

(エ) 記念館設備等の維持管理

(オ) 記念館等に係る行為の許可

イ 企画事業等の概要

(ア) 第13回「嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」

募集期間 平成30年8月～令和元年3月1日（金）

応募総数 165点

審査 令和元年3月24日（日）

表彰式 5月11日（土）

写真展 4月15日（月）～6月17日（月）

8月6日（火）～8月11日（日）

岡山県天神山文化プラザ

来場者数 2,449人

(イ) 令和元年度「岡崎嘉平太記念館 わくわく科学塾」

6月13日(木)

参加者 260人

岡崎嘉平太氏の「創造」の書には、“新しい技術を開発しないかぎり日本の未来はない。未開拓な科学技術の分野の研究を応援する”という氏の若い人への期待が込められている。その思いを伝えるべく地元小学校の児童に身近に科学にふれ合う機会を提供

(ウ) 岡崎嘉平太国際奨学財団第29期生5名岡山研修の受入

6月14日(金)

毎年来町し、岡崎嘉平太記念館見学、嘉平太氏の出身校大和小学校の児童との交流、嘉平太氏の碑が建つ大和山山頂で桜の植樹等、地元の方々との交流を深めている。

(エ) 絵手紙をかく会

7月31日(水)

参加者 50人

(オ) 夏休みミニ企画展

来館者 237人

「知ってみよう！行ってみよう！嘉平太さん史跡めぐり

－岡山県編」

8月3日(土)～8月26日(月)

岡崎嘉平太さんの出身地である加賀郡吉備中央町や、転居先の総社市、なじみの深い岡山城や後樂園、出身校である岡山県立朝日高等学校等、岡山県に点在する、嘉平太さんゆかりの地を紹介〈関連事業〉

・岡崎嘉平太 学芸員とゆかりの地を巡る旅 1コース

10月5日(土)

参加者 21人

・岡崎嘉平太 学芸員とゆかりの地を巡る旅 2コース

11月9日(土)

参加者 17人

・期間中、嘉あちゃんの部屋に関連図書を並べ、自主学習、自主研究の場を提供

来館者 137人

・期間中、『岡崎嘉平太さん”史跡”紹介－岡山県編』地図に、訪問地や出身地に4シールを貼るワークショップを開催

(カ) 秋の特別企画展「日中国交正常化の礎－LT・MT貿易と岡崎嘉平太」

来館者 938人

9月22日(日)～12月27日(金)

- (キ) 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第18回講演会
日時 10月16日(水) 来場者 80人
場所 岡山大学創立五十周年記念館金光ホール
講師 岡本巖氏(日中経済協会 前理事長)
井上正也氏(成蹊大学法学部教授)
- (ク) 令和元年度吉備中央町中学生国際交流研修団報告会
日時 令和2年1月25日(土) 参加者 50人
共催 吉備中央町国際化推進協会・吉備中央町
- (ケ) 第12回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展
令和2年2月22日(土)～3月2日(月) 来館者147人
吉備中央町内全小学校の6年生が卒業制作した作品を一同に
展示
- (コ) 「企画展示室」「嘉あちゃんの部屋」利用促進 ミニ企画展
- ・ 気のむくままに布あそび 奥村さんのオリジナルバック展
10月2日(水)～14日(月) 来館者231人
 - ・ 吉備高原清和荘 絵本プロジェクト 創作絵本『かくしごと』
～ミーちゃんとクロくんのデート～展
10月19日(土)～11月17日(日) 来館者430人
 - ・ 一米寿記念一銭本遊舟書展
11月23日(土)～12月22日(日) 来館者368人
 - ・ 第1回森の宝石ブッポウソウ絵画展
令和2年1月5日(日)～1月13日(月) 来館者102人
 - ・ 令和元年度 吉備中央町図画展
令和2年1月11日(土)～20日(月) 来館者121人
 - ・ 吉備高原学園高等学校生徒作品展
令和2年3月12日(木)～4月6日(月) 来館者392人
- (サ) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行
岡崎嘉平太記念館の活動報告や今後の予定、寄贈品紹介などを
年2回配布
- (シ) 岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第18回講演会
講演記録の作成

- (ス) 記念館ホームページリニューアル
 - ・ホームページの安全化並びにスマートフォン表示対応含む。
- (セ) 資料の受入等
 - ・寄贈資料 5点
 - ・購入資料 該当なし
- (ソ) 行為の許可件数等 4件

(3) 岡山県自然保護センター

① 受託事業（再委託）

- ア タンチョウ飼育に関すること
- イ 傷病鳥獣の保護に関すること
- ウ 企画事業等

(ア) スペシャルイベント タンチョウ解説～即位の礼～

5月1日（水・祝） 参加者46名

(イ) 初心者のための自然観察会 こっそり教えます～タンチョウのヒミツ～

6月2日（日） 参加者15名

(ウ) スペシャルイベント ハスとタンチョウ（撮影会）

7月14日（日） 参加者18名

7月21日（日） 参加者26名

(エ) 友の会行事 タンチョウ写生大会とクラフト

8月4日（日） 参加者54名

(オ) スペシャルイベント タンチョウえさやり体験&記念撮影会

8月11日（日） 参加者53名

(カ) タンチョウ散策

アオ（H16年生）・ロクハ（H15年生）・ワケタン（H29年生）

10時20分～12時まで 数回

9月：29日、30日

10月：5日、6日、7日、10日、14日、16日

20日、21日、24日

27日（佐伯タンチョウフェスタ）

（キ）外部展示

食と健康の祭典おかやま 5月12日（日）

井原市環境フェア（第22回） 6月2日（日）

2019 青少年のための科学の祭典

11月9日（土）～11月10日（日）

（ク）2019年夏のボランティア体験受入

（地元中学生6名、高校生3名）

7月：24日、25日

8月：1日

（ケ）インターンシップ研修の受入（岡山理科大学 1名）

研修期間 11月16日～18日、11月20日

11月16日 タンチョウについての研修

② 職員派遣による対応

派遣職員1名（事務管理及びタンチョウ関係経理）

（4） 第十五回岡山県「内田百閒文学賞」の募集等に関する業務

岡山県が生んだ名文筆家 内田百閒の生誕百年を記念して創設された「内田百閒文学賞」を岡山県と共催で運営しており、岡山にゆかりのある作品を全国から募集・贈賞することにより、本県の文化の振興を図り、岡山の魅力を全国に発信する。令和元年度は、作品の募集を行った。

主催 岡山県、（公財）岡山県郷土文化財団

後援 岡山県教育委員会

運営委員会 6月7日（金）開催

実施要領、募集要項、広報計画の決定

募集要項の概要

作品ジャンル：随筆及び短編小説（評伝・紀行文・戯曲を含む）

募集開始：7月17日

応募締切：令和2年5月31日（日）

最終審査員：小川 洋子 / 平松 洋子 / 松浦 寿輝

賞：最優秀賞（1編）…賞金100万円

優秀賞（2編）…賞金20万円（1編につき）

発表：令和2年12月

表彰式：令和3年4月（予定）

（参考） 管理施設等入園（館）者数 (人)

施設名	令和2年 3月末㊦	平成31年 3月末㊧	㊦－㊧
岡山後楽園	832,677	824,499	8,178
犬養木堂記念館	11,054	11,653	△599
岡崎嘉平太記念館	14,824	18,084	△3,260
自然保護センター	32,438	31,154	1,284